

ほけんだより

臨時号
末広認定こども園
保健室 看護師 本村

今シーズンの流行は A・B 型両方！？

インフルエンザが全国的に流行しています。1999年から開始したインフルエンザ罹患者数の調査で、過去最多を記録したとの報道もありました。茨木市内でも、毎日どこかの園・小中学校で、学級閉鎖や学年閉鎖がおこっているようです。例年なら、まずインフルエンザ A 型が流行し、追って B 型が流行するという流れなのですが、今シーズンはどうやら違うようです。割合的には丁度、半々くらいだそうです。また、B 型は熱が上がらないこともあるようです。ちなみに本園では、インフルエンザに罹患した園児の 8 割が B 型です。

	A 型	B 型
流行シーズン	12月～3月	2月～3月
症状	<ul style="list-style-type: none">強い倦怠感全身の筋肉痛・関節痛激しいせきのどの痛みつらい頭痛鼻水 など	<ul style="list-style-type: none">基本的には A 型と同じ下痢・嘔吐などが多いと言う医師もいる
発熱	38～40℃の急な発熱	熱が上がらないこともある
治療薬	タミフル、リレンザ、イナビル	<ul style="list-style-type: none">リレンザがやや有効A 型に比べタミフル、イナビルがやや効きにくい

高熱にならない微熱や平熱が多い

インフルエンザと風邪を見分けるポイントのひとつが急激な高熱です。

ただし、インフルエンザ B 型は 38.5℃ 以上の高熱がでないケースがあり、熱があまりあがらないため、インフルエンザだと気づかない場合もあります。特に高齢者では熱が上がりにくいという報告があります。

微熱のためインフルエンザの感染に気付かず、初期治療が遅れてしまうと症状が悪化し治療期間が延びてしまうことにもつながります。

下痢・腹痛・吐き気・嘔吐の消化器症状

インフルエンザ B 型の特徴のひとつに、下痢や嘔吐などの消化器症状が多いことをあげる医師もいます。しかし、インフルエンザ A 型でも下痢や嘔吐など消化器症状がでることもあるため、必ずしもインフルエンザ B 型にしかでない症状というわけではありません。

インフルエンザとノロなどのウイルス性胃腸炎の流行シーズンが同時期のため、インフルエンザ B 型をノロウイルスなどによる胃腸炎と勘違いすることもあります

つぶやき

本園でも少しずつインフルエンザに罹った子どもたちが出てきました。上記のとおり今シーズンは早々に B 型も流行しています。「熱も高くないし、節々の痛みもないからただの風邪だと思っていたけれど、病院で検査してもらったらインフルエンザだった」というのもインフルエンザ B 型にはよくある話です。また、A 型にも B 型にも罹患してしまったという事例も今年が多いようです。毎回しつこいですが、子どもたちだけではなくご家族の皆さま全員がご注意ください。

* インフルエンザは意見書の提出が必要な疾患になります



保健室 本村